

新型コロナウイルス感染により亡くなられた皆様にお悔み申し上げますと共に、
 被害されている皆様に心よりお見舞い申し上げます。
[新型コロナウイルスに対する当社の対応について](#)

異なる切り口で測定結果を「見る」ことで、新たな洞察や発見につながるものがよくあります。
 今月の技術ウェビナーシリーズのテーマは「進化し続ける分析・解析手法」。ライブ後のQ&Aでは日頃の疑問点も質問いただけます。

今月のトピックス

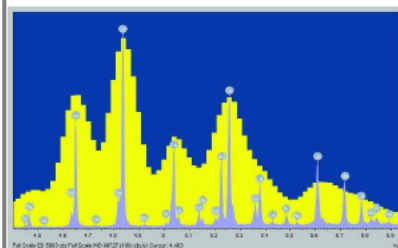
1. ナノアナリシスの基礎 第5弾！ウェビナー「WDSの基礎」のご案内 - EDSからのステップアップに
2. AFM基礎ウェビナー（4）「ナノメカニクス測定のための重要なポイント(後半)」
3. 本日開催！Andorウェビナー 三次元画像の視覚化？新たな発見につながるアプローチ
4. NanoScienceニュース：希少資源ヘリウム（He）の節約

本日開催ウェビナーあり！— [最新ウェビナー予定／ご登録はこちら](#)

● NAウェビナー：ナノアナリシスの基礎シリーズ 「WDSの基礎 - 分光の原理と特性」

[分析機器事業部]

WDSはX線情報をもとに元素を調べる分析機器です。EDSと同じ情報を基にしながら、**微量元素や特定の元素分析などの用途で特に強みを発揮**します。分析の原理と、WDSの特性を生み出しているハードウェアについてご説明します。WDSのお客様はもちろん、**通常のEDS分析の「もう少し先」に興味がある方も必見**です。



「WDSの基礎 - 分光の原理と特性」

- 日時：2020年7月28日（金） 16：00～16：30
- 費用：無料
- [このウェビナーに登録する](#)

この製品の最近のブログはこちら(英文) :

■ [Why is spectral resolution so important when analysing using WDS?](#)

[ラインナップを見る - 「Nano Analysis製品」](#)

● Asylumウェビナー

知っておきたいAFMの基本技術 - ナノメカニクス測定のための重要なポイント

[アサイラム・リサーチ事業部]

原子間力顕微鏡 (AFM) の基礎ウェビナー 第4弾を行います。今回は前半・後半の2回に分けてお届けしている、**ナノ領域の力学物性を評価する「[ナノメカニクス測定](#)」**の後半です。

産業界からのニーズも多い、粘弾性マッピングの手法やデータの定量性、測定ノウハウや注意点についてご紹介します。

AFM (Atomic Force Microscopy 原子間力顕微鏡)は、カンチレバーTipが試料に直接接触することで、試料の「硬さ」に関する知見が得られると同時に、2次元マッピングも可能で、弾性率や凝着力・粘性・試料変形・摩擦力などの力学物性・機械特性に関する情報を形状イメージに重ねて表示することが出来ます。これらの機械特性の違いをもとにコントラストを付けることで、相分離構造やフィラーの分散状態、複合材料の分布状態や界面特性などをナノスケールで理解することが可能になります。

「知っておきたいAFMの基本技術 - ナノメカニクス測定のための重要なポイント」

■ 日時 :

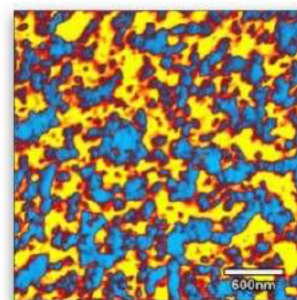
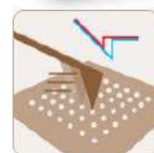
<前半> [オンデマンド配信中](#)

<後半> 2020年8月7日(金) 16:00~16:30

[このウェビナーに登録する](#)

■ 対象 : AFM初心者の方(使用したことがある程度)
※未経験者も歓迎

NanomechPro™



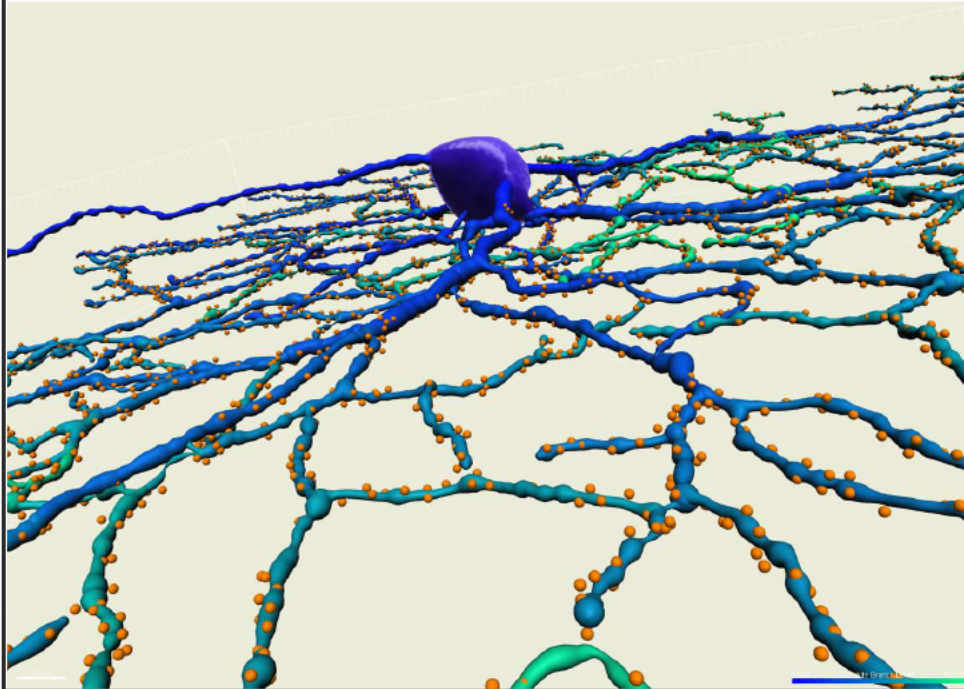
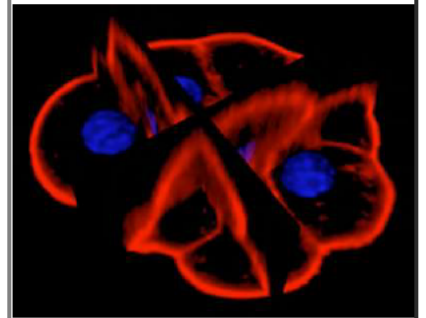
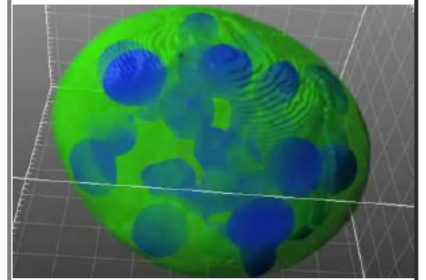
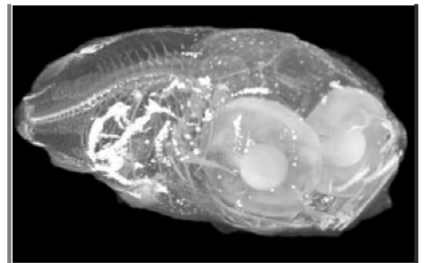
フィラー充填ゴムの損失正接マップ

[ラインナップを見る - 「Asylum製品」](#)

● Andorウェビナー : Andorが提供する画像視覚化ソリューション 三次元画像の視覚化 ?

[アンドール・テクノロジー事業部]

画像は情報の宝庫です。上手くサンプル作製が出来た時の画像、奇跡的な撮影条件を得られた時の画像、長時間苦戦してようやく撮影出来た画像。まずは視覚化してみませんか。今回のウェビナーでは、撮影された様々な画像を用いて、画像解析により得られる様々な“見方”や“見せ方”を紹介し、皆様の新たな発見につながるアプローチをご案内します。



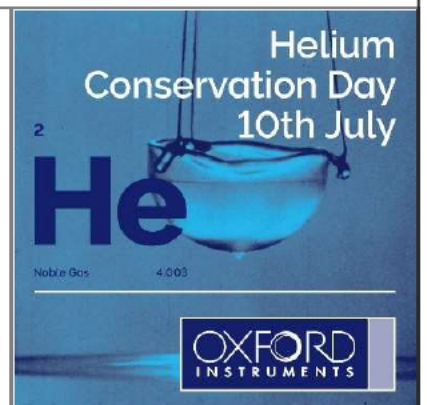
【Andorウェビナー】第3回 三次元画像の視覚化？ - IMARIS イマリス -
本日7/21 4:00pmから [ウェビナーの詳細／お申込み](#)

[ラインナップを見る - 「Andor製品」](#)

● NanoScienceニュース 希少資源ヘリウム (He) の節約

7月10日は、オランダのライデン大学でオランダの物理学者ヘイケ・カマリン・オンネスがヘリウムを初めて液化させた画期的な研究を行ってから112年目の節目の日です。この偉業と液体ヘリウムの重要性を記念して、7月10日は「ヘリウム節約の日」として、世界のヘリウム保全に対する意識を高めることを目的に祝われています。低温・超電導事業部ではヘリウム節約のために無冷媒装置への切り替えをお勧めしております。

[低温・超電導事業部]



[ラインナップを見る - 「NanoScience製品」](#)

- ・ [オックスフォード・インストゥルメンツ 最新ニュース](#)
- ・ [オックスフォード・インストゥルメンツ 最新ウェビナー情報](#)

製品に関するお問い合わせ先は
オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社
各事業部まで

分析機器事業部

Email : na-mail.jp@oxinst.com

製品ラインナップ : <https://nano.oxinst.jp/>

アンドール・テクノロジー事業部

Email : info.andorjp@oxinst.com

製品ラインナップ : <https://andor.oxinst.jp/>

アサイラム・リサーチ事業部

Email : sales.asylum.jp@oxinst.com

製品ラインナップ : AFM.oxinst.jp

低温・超電導事業部

Email : nanoscience.jp@oxinst.com

製品ラインナップ : <https://nanoscience.oxinst.com/>

本メール配信に関するお問い合わせ info.jp@oxinst.com

オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社 マーケティング・コミュニケーションズ



オックスフォード・インストゥルメンツ社について

Oxford Instrumentsは、産業用・研究用の高度な技術ソリューションを開発・製造し、グローバルに販売やサポートを展開しています。その歴史は、英国のオックスフォード大学から独立し創業を果たした1959年に遡ります。以来60年以上にわたり、イノベーションは当社の成長と成功の原動力となってきました。次世代半導体・新世代通信・高機能材料・ヘルスケア・ライフサイエンス・量子技術・宇宙科学と、多岐にわたるアプリケーションを通じて、よりグリーンな世界への喫緊の課題解決に、当社のコア技術が採用されています。物性物理研究用の極低温無冷媒希釈冷凍機や超電導マグネットをはじめ、電子顕微鏡用の元素分析装置、レーザーや光学式イメ

ーシング装置、更には原子レベルでの半導体プロセス用プラズマ技術でのデポジション・エッチングシステムなど、当社の様々な先端テクノロジー製品をご利用ください。

© Copyright 2020 Oxford Instruments.

E-mailの配信停止を希望される方は、[こちら](#)をクリックしてください。
プライバシーポリシーは、[こちら](#)をご覧ください。